

6年生 学習指導案

1. 単元名 インターネットに関わる人権問題について考えよう

【岐阜市の12の人権課題：⑩インターネットを悪用した人権侵害】

2. 本時のねらい

インターネットによる人権問題の存在を知り、ちょっとした思いつきや軽い気持ちが大ごとになってしまう危険性があることを理解し、安易な気持ちで送信してしまう心の弱さがあることに気づき、①SNSへの投稿の仕方、②肖像権に対する知識、③投稿することによって生じる相手の気持ちを考え、自己啓発力につなげる。

3. 本時展開

	学習活動	指導上の留意点 評価
気づく	○ スマホを日常どのくらい使っているか、事前アンケートからクラスの現状を知る。	・事前アンケートから、スマホを日常的に使う人が増えてきたことを知り、使い方について学ぶことが大切であることに気付かせる。
見つける	課題 インターネットに関わる人権問題について考えよう。 ① 映像資料「わっかカフェへようこそ」の冒頭5分間を視聴する。(資料番号：DN129) ② 主人公がトラブルになった原因は何か考える。 <個人> ワークシートに記入。 <グループ交流> 一人一人が意見を発表し、トラブルの主となる原因についてまとめる。 <全体交流> グループごとにまとめたことを発表する。 - 顔や制服が写っていた写真を、見も知らぬ人々が見ることができるということを考えずにSNSにアップしてしまうと、どうなるか考えていなかったからだと思います。 - 気軽に写真を撮ったものを、インターネット上に安易にアップしたりできることで、軽い気持ちがあったと思います。 - 相手にどう伝わるのか、考えずに気軽に文章を送ってしまったからだと思います。 - 普段話す感じで、文章を送ってしまったことがトラブルの原因だったと思います。	① スマホを持っているか。 ② インターネットやSNSで怖い思いをしたことがあるか。 ③ ②で「はい」と答えた人は具体的に。 ④ インターネットやSNSを使うときに気を付けることは何か。 <トラブル①> SNSにあげた写真の背景に制服が写っていて、学校が特定されてしまった。 →写真を載せることの危険性、背景に写ったものから個人情報が特定されてしまうことがある。 <トラブル②> 友達に向けて書いた文章が誤解を招いてしまった。 →文章では、伝わりにくい言葉があり、自分の思いとは違う意味で伝わってしまうことがある。 - 軽い気持ちになる理由は何かを考えさせる。 ① 顔が見えない匿名性 ② 手軽にできてしまう ③ 相手の反応がすぐ見えない →送る前に一度立ち止まって考えることの大切さに気づかせる。 スマホを安易に使うと、人を傷つけたり、自分がトラブルに巻き込まれたりすることがあることに気づく。周りに合わせて考えずに行動してしまう自分の弱さに気づく。(認識力)

③ このようなトラブルになった一番の原因が心の弱さであることに気づき、自分の中にも同じような弱さがないか話し合う。

- 軽い気持ちで、悪口を書いてしまったことがあります。
- スマホの使い方のルールを破って使ってしまった事があります。
- 軽い冗談のつもりで、友達の写真を撮ってしまったことがあります

④ これから自分はスマホとどう付き合っていくべきか、考えたことを書く。

スマホを使えると嬉しくて、つい何も考えずに使ってしまうことがあるけれど、スマホの向こう側には人がいることを意識して、人を傷つけることのないように気を付けて使用するようにしたい。そのために、正しい知識を身に付けたり、本当に送信してもよいのか、送信する前に立ち止まって考えるようにしたい。

• 一番の原因は何かを問うことで、①SNSへの投稿の仕方、②肖像権に対する知識、③投稿することによって生じる相手の気持ちを軽く考えていた結果、トラブルに巻き込まれてしまったところに主人公の弱さがあることに気づき、自分にもそんな弱さがないか、自分を見つめ、考えさせる。

• 今後、自分がどう行動していくことがよいか、具体的に書けるようにする。

文章や写真を送るときには、見た人がどう感じるかを考えて行動しようとする。（自己啓発力）